

研究課題番号	4G-2001
研究課題名	イノシシの個体数密度およびCSF感染状況の簡易モニタリング手法の開発
研究実施期間	令和2年度～令和4年度
研究機関名	兵庫県立大学
研究代表者名	横山 真弓

1. 委員の指摘及び提言概要

養豚業には、致命的な影響があり、人間への影響が懸念される内容なので、進展を期待したい。ウイルスの簡易抽出ができた点を評価したい。生息数推定には前進が認められる。地域主体型のイノシシ個体群管理の社会実装が確実に行われるようなアウトプットを期待する。「簡易」モニタリングを提案するには、信頼すべきモニタリング結果がどのようなものか示す必要があると思う。人間と自然、野生動物との関わりが基本的に変化するような状況の中、社会科学的な戦略が必要なように思われる。

2. 採点結果

評価ランク：A